

## 令和4年度 福島県高等学校PTA連合会 善行賞受賞者

健全育成委員会

No.	学校名	氏名・団体名	善行の内容
1	福島工業	三浦 友彩 (3年)	下校途中、自転車同士の接触事故で転倒し、怪我をした他校の高校生に遭遇し、救助した。保護者到着までの間、圧迫止血をし、保護者に転倒に至った経緯と怪我の状況を説明するという対応を行った。
2	二本松工業	佐藤 拓海 (3年)	通学途中の路上で倒れている老壮年男性に声をかけ、救急車を呼びその到着まで介助して様子を見守っていた。
3	光 南	青木亜沙美 (3年) 角田 総司 (3年)	高速道路のガード下に具合の悪い高齢者を発見した。身元がわからなかったため町役場に電話で相談をし、町役場が手配した警察、救急車が到着するまで介抱を継続した。翌日、家族から感謝を伝える電話が本校にあった。
4	小 野	管野 紀花 (3年)	中学1年生から、月1度開催される常葉町の「町カフェ」にボランティアとして継続的に参加し、幅広い年齢層の方々との交流を図って地域の活性化に貢献した。
5	白河第二	長倉 朱里 (3年) 相馬 一星 (2年)	自転車から転倒し、下敷きになっていた年配女性を発見した。学校・女性家族と連絡・調整し、到着した家族への引き渡しを行った。
6	喜多方桐桜	秋山 空 (3年) 佐藤 綾美 (3年) 穴澤 優羽 (3年)	6月3日朝登校していた際、倒れて流血している高齢者を見つけ、すぐに救助活動及び応援要請を行った。
7	平工業	坂本 耀来 (2年) 野口 諒馬 (2年) 吉田 眞拓 (2年) 渡邊 匠揮 (1年)	休日の部活帰りに、高齢者が転倒した現場に遭遇し救急車の手配や車の誘導並びに介助をした。自分たちにできる範囲の応急処置をし救急隊員への説明をするなどの手助けをした。
8	ふたば未来学園 (高等学校)	宇佐美 誉 (3年)	視覚障がいを持つ70代男性が広野駅上り線ホームから線路に転落したことを発見し、救助の手助けをしてくれる方を探した。
9	ふたば未来学園 (高等学校)	草野 真優 (3年) 佐藤一之成 (2年) 中野 紘斗 (1年)	JR広野駅にてホームへ転落した人に対し、近くに居合わせた社会人男性と共に救助にあたった。
10	原 町	金山 芽衣 (1年) 松下 咲良 (1年)	下校中、路上で倒れていた老人を発見し、介抱した後、タクシーを手配し無事に帰宅させた。
11	小高産業技術 相馬農業	福島 菜未 (3年) 楠見 颯太 (1年)	令和5年1月19日の登校途中、歩道に女性が倒れているのを発見した。女性に声をかけ介抱し、偶然通りかかった警察官と協力して救急車を要請した。その後、救急車が到着するまで女性に寄り添った。